

人と動物の未来センター

Amitie

For Saving Animals

2016

チャリティーコンサート

2016年 4月17日(日)

倉吉未来中心 小ホール

開場13:30 開演14:00

～藤田淳之介氏を迎えて～

演奏曲目

ひまわり
パッヘルベルのカノン
タイスの瞑想曲
トウモロロー
スタンド・バイ・ミー
エストレータ
ダニーボーイ
リベルタンゴ

他

♪アトム・サクソフォン・カルテット♪

枯葉
聖者の行進
別れの曲
スペイン

他

出演

アトム・サクソフォン・カルテット

(藤田淳之介・安部哲哉・副田整歩・東涼太)

歌う獣医しおん

稲毛麻紀

小林圭子

生原圭太

陶山雄一郎

小笠原淳子

リトルバイオリニストサークル♪アミティエ



* 曲目を変更する場合がありますので、予めご了承ください

当財団は、1991年に動物医療の向上と動物たちと真の共生ができる未来の実現を目指すために設立され、2011年には内閣府より公益財団法人動物臨床医学研究所としての認可を受けております。2013年には、直接的な動物愛護活動を行うために、倉吉市内に「人と動物の未来センター・アミティエ」を開設しました。現在では鳥取県とも連携し、保健所で処分される運命の犬や猫の引き受け、ワクチン接種、不妊去勢手術、マイクロチップ埋設、しつけを実施し、高いレベルの動物愛護施設になっております。この2年間で、140頭以上の犬猫を受け入れ、約120頭を譲渡することができました。この度、アミティエの活動を少しでもご理解頂き、1頭でも多くの命を救うために、湯梨浜町ご出身の藤田淳之介氏をはじめとしたアトム・サクソフォン・カルテットの皆様を迎え、チャリティーコンサートを開催いたします。音楽会にアミティエの紹介も加え、楽しく温かなひと時を過ごして頂けたらと思います。なお、今回の利益は、アミティエの動物愛護活動に活用させていただきます。

<チケット販売>

公益財団法人 動物臨床医学研究所 0858-26-0851
倉吉動物医療センター・山根動物病院 0858-26-0839
ゆうアニマルクリニック 0858-24-6621
米子動物医療センター 0859-32-8082

<入場料>

大人 2000円(当日2500円)
小人(高校生以下) 1000円(当日1500円)

主催・お問合せ:公益財団法人 動物臨床医学研究所 0858-26-0851 <http://haac.or.jp>

後援:鳥取県

ATOM SAXOPHONE QUARTET アトム・サクソフォン・カルテット

藤田 淳之介(T.Sax)、安部 哲哉(S.A.Sax)、副田 整歩(A.Sax)の三名を核とするサクソ四重奏ユニット。洗足学園音楽大学のクラシックサクソフォン専攻の同級生で結成。1999年の結成直後からプロのカルテットとして活動を開始。サクソ四本のみの編成ながら、時には激しく情熱的な、時には優しく繊細な変幻自在のサウンドで聴くものを魅了する。メンバー個々もサクソ奏者として、様々なジャンルで活躍しており、オリジナル曲とメンバーによるクラシック&ジャズのオリジナルアレンジは高い評価を得ている。

藤田 淳之介(ふじた・じゅんのすけ) テナー・サクソ 2003年、ホリプロとBMGファンハウスの合同 オーディション“Beyond the Classics”にて選ばれ、インストゥルメンタルユニットClacks(クラックス)のSax奏者としてメジャーデビュー。Clacks 3rdアルバム「ノリノリ!クラシックス」からは、自身が作曲した「Live It Up」がテレビ東京系列「スポーツ魂」のオープニング・テーマ曲に使用される。2009年、デュオユニット門藤 (かどふじ)の 1stアルバム『アオイホシ』でメジャーデビュー。橋田壽賀子ドラマ「となりの芝生」でテーマ 曲に起用される。同年、脚本・三谷幸喜、音楽監督・小西康陽ミュージカル「TALK LIKE SINGING」に出演、東京・ニューヨーク公演に参加。現在は、ジャズバンド TRI4TH(トライフォース)のサクソ奏者としての活動と共に、SMAP、クレイジーケンバンド、八代亜紀、吉井和哉、原田知世など多数アーティスト のライブサポート、スタジオ・レコーディングに加え、テレビの劇伴音楽制作や、アーティストの楽曲アレンジなど、作編曲家としても積極的に活動を行っている。

安部 哲哉(あべ・てつや) ソプラノ&アルト・サクソ 洗足学園音楽大学を首席で卒業。卒業後フランスへ留学。パリ市10区音楽院を審査員全員一致の一等賞で修了。UFAM国際音楽コンクール、レオポールベラン国際音楽コンクール、ピカルディー音楽コンクールに於いて一等賞を獲得。帰国後、ジャズサクソフォンを土岐英史氏に師事。様々なアーティストのライブサポートの他、自己のDUO、TRIO等様々な形態でライブ活動を行っている。また2007年、2012年にクラシックサクソフォンのソロリサイタルを行い好評を得ている。

副田 整歩(そえだ・なおむ) アルト・サクソ 5歳でピアノ、12歳でサクソを始める。高校在学中ステューデントジャズフェスティバルにて審査員全員一致のソリスト賞を獲得。洗足学園音楽大学在学中にプロ活動を開始。卒業時に優秀な成績を評価されYAMAHA主催の新人演奏会に出場。富岡和男、土岐英史各氏に師事。自己のバントGeneration GAPの他、宮嶋みぎわ率いるビッグバンド「Miggy + Jazz Orchestra」五十嵐誠率いる「イガバンBB」でリードアルトを担当。様々なアーティストのライブツアー、レコーディング、アレンジに携わる他、ミュージカルやTV、ソロ活動も展開中。サクソ全種その他フルートやクラリネットも演奏するマルチリードとしても活躍中。

東 涼太(ひがし・りょうた) バリトン・サクソ 東京芸術大学を首席(管打楽器)で卒業。併せてアカンサス音楽賞受賞。同大学院修士課程修了。これまでにソリストとして、東京ニューシティ管弦楽団、藝大フィルハーモニアとコンチェルトを協演。国内はもとよりモスクワ、キューバ、香港、ロンドン、ベルギー、オランダなど海外での公演も好評を得ている。所属するサクソフォン四重奏団「カルテット・スピリタス」の2007年東京・津田ホールでのリサイタルは”調和のとれた正統派アンサンブル”(音楽の友)と評され、2ndアルバム「THE QUARTET」は「レコード芸術」誌において特選盤に選ばれる。ソロ活動、オーケストラや吹奏楽への参加など精力的に行っている。

歌う獣医しおん ボーカル 鳥取大学農学部獣医学科卒業。2014年東京国際声楽コンクールオペレッタ/ミュージカル部門4位。市民ミュージカルに参加したことをきっかけに舞台に立つ面白さを知り、獣医師として勤務しながら音楽に取り組むようになる。現在は、ミュージカルクロスオーバーを得意とするフリーランス歌手としてライブ、慰問コンサート、イベント等に多数出演。

稲毛 麻紀(いなげ・まき) ピアノ 武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業後、お茶の水女子大大学院ピアノ演奏学講座修了。ピアノを新田恵理子、堺康馬、A・ウェーバー・ジンケの各氏に師事。これまでアザレアのまち音楽祭のサロンコンサートやオープニング・コンサートのピアノ・コンチェルト等に出演。現在、合唱団のピアニスト、移動わらべ館重謡・唱歌推進委員、鳥取短期大学非常勤講師を務める。鳥取オペラ協会ピアニスト。

小林 圭子(こばやし・けいこ) ヴァイオリン 3歳よりバイオリンを始める。現在までにバイオリンを山田衛生、玉井洋子、鄭英徳(チョン・ヨンド)各氏に師事。現在、倉吉市において「こどもアド・カルチャー」を主宰。また現在鳥取県に3名いる日本音楽療法学会認定音楽療法士の一人として各方面で講師や演奏など活動。病気や障がいの為にコンサートホールに行けない方に、ワンコイン(500円)でプロのアーティストが「音楽」の宅配便♪を行う音楽事務所ミュージック・オフィス♪DoReMiを昨年10月に立ち上げる。

生原 圭太(いくはら・けいた) コントラバス 広島県在住。15歳で大津敬一氏の手ほどきを受け、倉吉東高校管弦楽部、広島大学交響楽団にて活動。海上自衛隊勤務による数年間の中断を経て、2010年頃からバリアフリーコンサート、アミティエチャリティコンサートなど主に室内楽で参加。メディウムジカアンサンブル(広島市)、BINGO WINDS(福山市)に在籍。現在までに、広島交響楽団コントラバス奏者斎藤賢一及びチェロ奏者熊澤雅樹両氏に師事。

陶山 雄一郎(すやま・ゆういちろう) ギター 2014年に当財団に入所した獣医師。大学入学時から軽音楽サークルでエレキギターを始め、バンド活動を6年間行う。昨年に引き続き、クラシックギターの演奏で参加する。

小笠原 淳子(おがさわら・じゅんこ) ピアノ 当財団所属の獣医師。現在、倉吉動物医療センター・山根動物病院副院長として、小動物の診療に携わる。動物たちがもっと幸せになることを願い、参加する。

リトルバイオリニストサークル♪アミティエ

「こどもアド・カルチャー」において個人レッスンを受けている5～17歳の子どもたちで結成。弦楽合奏を通して会場の皆様をはじめとする多くの方々と動物たちに明るい笑顔を届けるよう心を込めて演奏する。

